

平成31年度 上下水道部 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
上下水道部長 松本 孝之 	<p>●使命 私たち上下水道部は、市民生活や産業経済活動に欠くことのできないライフライン事業を担っています。上水道は、安全・安心な活力ある水道を基本理念に、災害に強い安全・安心で良質な水を安定的に供給します。下水道は、快適な生活環境の整備と日々の生活で汚した水を高度処理し水質保全を図り、豊かな水環境を守ります。</p> <p>●基本方針</p> ①安全で安心な水を供給するため、水質管理・検査体制の充実や浄水施設の高度処理化に取り組みます。 ②効率的で災害に強い水道システムを構築するため、応急給水体制等の強化や、施設や管路の適正規模での更新や耐震化、統廃合を進めます。 ③健全で持続可能な事業経営を推進するため、施設や管路の適切な維持管理や投資の合理化、労働生産性の向上に努めます。 ④効率的な運営管理を見据えた整備計画を進めます。 ⑤下水道事業の効率化、維持管理コスト縮減、供用開始区域内の接続推進を図り経営の健全化を進めます。	所管課	上水道業務課・上水道施設課・下水道課		
		人 員	正職員	臨時職員	合計
			39人	6人	45人
		水道事業会計	2,888,819		千円
		下水道事業会計	2,643,734		千円
計	5,532,553		千円		
(うち人件費)	(284,667)		千円)		

重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況	
1	基幹管路の耐震化及び災害時応急給水体制の強化	計画的に基幹管路の耐震化を進めます。 災害時の応急給水のため、加圧式給水車を導入します。	耐震型ダクタイル鋳鉄管口径200mm～150mm、延長276mの布設替工事を2月末までに行います。	10月工事発注に向けて準備中です。 加圧式給水車は6月に契約を行っています。	工事発注済み、現在工事中です。 加圧式給水車は発注済みです。	耐震型ダクタイル鋳鉄管口径200mm～150mm、延長262mの布設替工事は完了しました。 加圧式給水車を導入しました。

重点項目	内容	成果目標	9 月末の進捗状況	1 月末の進捗状況	3 月末の達成状況
2	<p>浄水場及び送水管の機能強化、耐震化による更新</p> <p>福山浄水場の高度処理化や耐震化、適正規模での更新整備事業を継続します。</p> <p>北島送水管の耐震化、適正規模での布設替工事を継続します。</p>	<p>沈砂接触池及び排水池、濃縮槽を築造した後、付帯の機械・電気設備工事を実施します。その他、取水ポンプ設備及び導水配管工事を3月末までに行います。</p> <p>耐震型ダクタイル鋳鉄管口径400mm、延長285mの布設替工事を11月末までに行い、3月末までに新設管に切り替えます。</p>	<p>沈砂接触池の躯体コンクリートを打設、濃縮槽の基礎の工事中です。取水ポンプ設置について、国土交通省岡山河川事務所と協議中です。</p> <p>送水管の布設替工事は完了し、水需要が少なくなる冬季に切り替える予定です。</p>	<p>沈砂接触池及び排水池、濃縮槽の築造は完成し、付帯設備の工事中です。取水ポンプ2台の更新と導水配管工事が完了し、仮使用中です。</p> <p>1月上旬に新設管への切り替えまで完了しました。</p>	<p>沈砂接触池及び排水池、濃縮槽は付帯の機械・電気設備工事が完了しました。また、取水ポンプ全ての更新が完了し運用を開始しました。</p>
3	<p>適切な維持管理による有収率の向上</p> <p>有収率の向上を目指し、老朽管更新工事の実施と漏水の多い地域の調査を行います。</p>	<p>飯井地内配水管布設替工事水道配水用ポリエチレン管口径100mm、延長約491mの布設替を2月末までに行います。</p> <p>市内全域で選別して漏水調査を行います。</p>	<p>11月工事発注に向けて準備中です。</p> <p>市内11km（9地区）で漏水調査を完了しました。</p>	<p>工事発注済み、現在工事中です。</p> <p>市内11.8km（10地区）で第2期の漏水調査を完了しました</p>	<p>飯井地内の水道配水用ポリエチレン管、口径100mm、延長519mの布設替工事は完了しました。</p> <p>計2回の漏水調査を実施しました。延長22.8km、給水戸数1,528戸を調査しました。漏水19件を発見し全て修繕を完了しました。</p>

	重点項目	内容	成果目標	9月末の進捗状況	1月末の進捗状況	3月末の達成状況
4	下水道への接続推進	下水道事業の経営健全化のため、供用開始予定地区のパンフレット配布や広報紙・ホームページへの掲載、アンケート調査等により市民の理解を深め接続の向上を推進します。アンケート調査の際に接続について説明を行います。	供用開始地区への下水道接続率 77.5%を目指します。	広報紙・市ホームページに早期接続のお願いを掲載しています。また、供用開始から今年度、あらたに3年が経過した未接続世帯に対し、早期接続のお願い文書の発送を準備中です。	供用開始から今年度あらたに3年が経過した未接続世帯に対する早期接続のお願い文書を発送しました。広報紙への早期接続のお願いの掲載についても、再度実施します。昨年度、早期接続のお願いを送った世帯の接続も徐々に増えていますので、継続的に実施します。	接続率は78.1%となりました。これまで接続推進の手紙を送付した543世帯のうち、50世帯から接続申請がありました。今後も手紙の発送、アンケート調査、広報紙・ホームページによる早期接続のお願いを継続します。
5	施設の適正な管理・運営	ストックマネジメント計画の対策方針及び事業計画が完成し、今後、長寿命化を図るため、施設の点検・修繕・改築を計画的に実施していきます。また、長期的な視野に立って維持管理コストの縮減を目指します。	ストックマネジメント事業計画及び最適整備構想の結果を基に、修繕及び改築の詳細設計業務を3月末までに完成させます。また、施設の統廃合についても今後の事業の進捗状況及び財政面等を考慮しながら研究していきます。	詳細設計業務については、7月末に契約を行い、現在現場環境調査（道路状況・周辺環境・管路状況）を行っています。施設の統廃合については、総合的に検討中であり、次年度に具体的な経済比較を行う予定です。	詳細設計業務については、経済比較等を行い、修繕及び改築の工法が決定し、現在図面・数量計算書等の作成を行っています。施設の統廃合については、次年度の具体的な経済比較に向けて準備を進めています。	修繕及び改築等の詳細設計業務が完了しました。今後、計画的に改修工事を実施していきます。施設の統廃合については、次年度経済比較を行います。